

未来のために、いま選ぼう。

全国の地域地球温暖化防止活動推進センター

活動集



目 次

1. 地域地球温暖化防止活動推進センターについて	p1
【コラム】日本の温室効果ガス削減目標	p1
2. 数字で見る！地域地球温暖化防止活動推進センターの活動	p2
(1) 地域センターの活動による動員数	p2
【コラム】300万人の温室効果ガス削減効果	p2
(2) 地域センターが取り組んだ事業の総数	p3
【コラム】「地域における地球温暖化防止活動促進事業」における普及啓発活動の手法…	p3
(3) 地域センターのネットワーク	p4
【コラム】地域センターへの相談・照会件数	p4
(4) 地球温暖化防止活動推進員の活動	p5
3. 全国 58 センターの特徴的な活動事例	p6
【コラム】地球温暖化防止活動を表彰する取り組み	p20
4. 地域の担い手たち	p21
5. 地域センター情報	p27
(1) 地域センター指定数及び従事者数の推移	p27
(2) 地球温暖化防止活動推進員委嘱人数の推移	p28
(3) 地域センターが関係する地球温暖化対策地域協議会	p28
【コラム】地球温暖化対策地域協議会とは	p28
(4) 地域センター 所在地一覧	p29

はじめに

平成 27 年 12 月のパリ協定採択という低炭素化に向けた世界の歴史的合意が得られた中で、国は温室効果ガス排出量を 2030 年度に 2013 年度比 26%削減、とりわけ業務・家庭部門は約 40%削減という極めて高い目標を掲げ、現在、国民一人一人が低炭素な行動・ライフスタイルを選択する COOL CHOICE 国民運動を積極的に進めています。私たち地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化対策推進法に基づき、全国センター及び 58 か所の地域センターが一体となって、地球温暖化防止活動の普及啓発や調査研究に取り組んでおります。今般、地域センターの特徴的な活動や担い手を、わかりやすい活動集としてとりまとめました。多くの国民やステークホルダーの方々に読んでいただき、私たちと一緒に地球温暖化防止活動の主役になっていただければ幸いです。

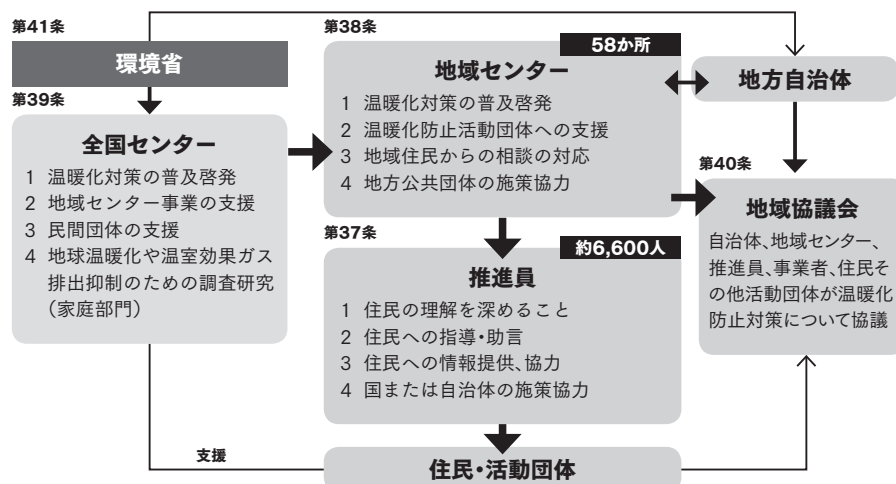
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
(全国地球温暖化防止活動推進センター)

1 地域地球温暖化防止活動推進センターについて

地域地球温暖化防止活動推進センター（地域センター）は、地球温暖化対策推進法に基づき全国の都道府県、指定都市などの首長が指定して設置される、地域で地球温暖化防止活動に取り組む法的な根拠をもった唯一の拠点です。平成 28 年度に 3 センターが加わり、現在 58 の地域センターが指定されています。

地域センターは、全国地球温暖化防止活動推進センター（全国センター）や地球温暖化防止活動推進員（推進員）、地方自治体、地域協議会などと連携して、地球温暖化防止のための普及啓発を行っています。

地球温暖化対策推進法による普及啓発体制



column

！日本の温室効果ガス削減目標

COP21において採択されたパリ協定では、日本は2030年度までに2013年度比で温室効果ガスを26%削減することを、約束草案として世界に示しました。これを達成するために、平成27年からCOOL CHOICE（賢い選択）国民運動が推進されており、環境省から具体的な指標及び目標などを定めた「地球温暖化対策のための国民運動実施計画」（実施計画）が発表されています。実施計画では、目標達成のために実施する措置の一つとして、地域センターなどとの連携・協力を推進することが明記されており、地域センターの活躍が期待されています。

約束草案の達成に向けて

～2013年度比 温室効果ガス26%削減の各部門における内訳～

	2030年度CO ₂ 排出量の目安 (単位:百万t-CO ₂)	2013年度CO ₂ 排出量 (単位:百万t-CO ₂)
エネルギー起源CO ₂	927	1,235
	2013年度比 約25%削減	
産業部門	401	429
	2013年度比 約7%削減	
業務その他部門	168	279
	2013年度比 約40%削減	
家庭部門	122	201
	2013年度比 約40%削減	
運輸部門	163	225
	2013年度比 約28%削減	
エネルギー転換部門	73	101
	2013年度比 約28%削減	

環境省地球温暖化対策推進本部決定「日本の約束草案」よりJCCCA作成

実施計画第1期計画

(2016～2020年)における個別目標

「COOL CHOICE」の認知度	50%以上
「COOL CHOICE」賛同者数	600万人以上
「COOL CHOICE」賛同団体数	40万団体以上
クールビズ実施率	家庭部門：86.5% 業務部門：83.1%
ウォームビズ実施率	家庭部門：88.9% 業務部門：82.9%
エコドライブ実施率	20%
カーシェアリング等実施率	0.73%

(1) 地域センターの活動による動員数

(平成 27 年度 55 センターの活動実績に係る動員数)

延べ約300万人

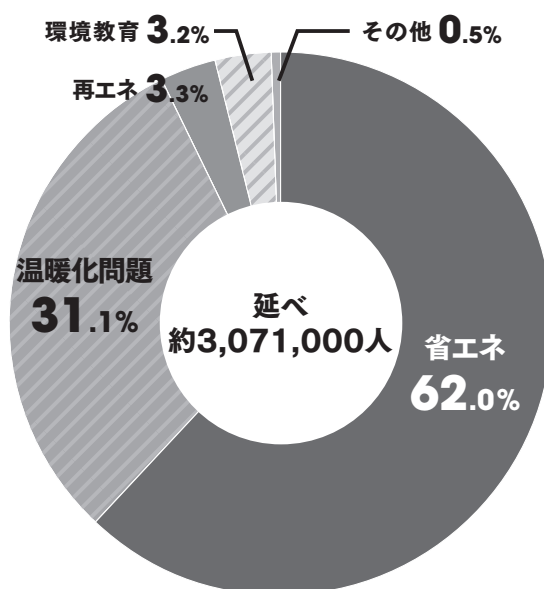
地域センターはさまざまな事業を通じて、300 万人以上を動員する普及啓発活動を実施しました。広く一般市民を対象とした活動が主ですが、児童や生徒などを対象にしたものや、民間企業の従業員を対象にした活動も実施しています。

■ 動員数内訳

動員種別		数量（延べ数）
市民動員数	一般市民	約 3,039,000 人
	児童、生徒など	約 19,000 人
	企業従業員など	約 13,000 人
	計	約 3,071,000 人
企業動員数		約 7,000 社

■ テーマの具体例

テーマ	具体例
省エネ	省エネや節電手法、エコドライブ、環境家計簿、エコクッキング、うちエコ診断など
温暖化問題	メカニズム、CO ₂ 排出実態、気候変化、影響、IPCC などの知見
環境教育	生物多様性、廃棄物問題、食育、健康など
再エネ	太陽光、風力、水力、バイオマス、廃棄物発電など
吸収源対策	森林保全、湿地保全など
適応策	防災、ハザードマップ、農業など
機器買替	省エネ家電、LED、太陽光発電、省エネ住宅、エコカーなど
リサイクル	生ゴミ減量、リサイクルなど



テーマ別動員数

column

！ 300万人の温室効果ガス削減効果

普及啓発事業に係る1人当たりの年間みなし CO₂ 削減量を 140kg-CO₂/年[※]とすると、

約42万t-CO₂/年

の削減効果があります！

※平成 27 年度エネルギー対策特別会計補助事業検証・評価委託業務（地域活動支援・普及啓発事業）において算出された原単位

(2)地域センターが取り組んだ事業の総数

(平成 27 年度 55 センターの活動実績)

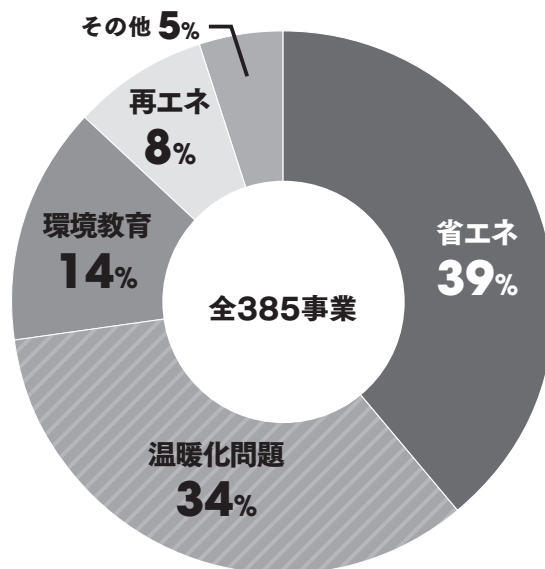
385事業

地域センターが実施する事業をテーマ別に見ると、省エネに関する事業が最も多く、次いで温暖化問題、環境教育、再エネが続きます。このように、地域センターはさまざまなテーマで CO₂ 削減につながる事業を実施しています。

さまざまな活動を通じて、地域センターには地球温暖化防止活動を効果的に進めるための多くの知見とノウハウが蓄積されています。

■ テーマ別活動数

テーマ	件数
省エネ	149 件
温暖化問題	131 件
環境教育	55 件
再エネ	32 件
吸収源対策	7 件
適応策	5 件
機器買替	3 件
リサイクル	3 件
計	385 件



テーマ別地域センター事業の内訳

column

！「地域における地球温暖化防止活動促進事業」における普及啓発活動の手法

地域センターが平成 27 年度に活動促進事業（全 55 事業）の中で実施した普及啓発活動は延べ 141 件でした。啓発手法を分類して集計したところ、最も多く取り入れられていたのは「座学」となりました。このように、地域センターは多様な手法を用いて、普及啓発活動を実施しています。

■ 啓発手法別活動件数

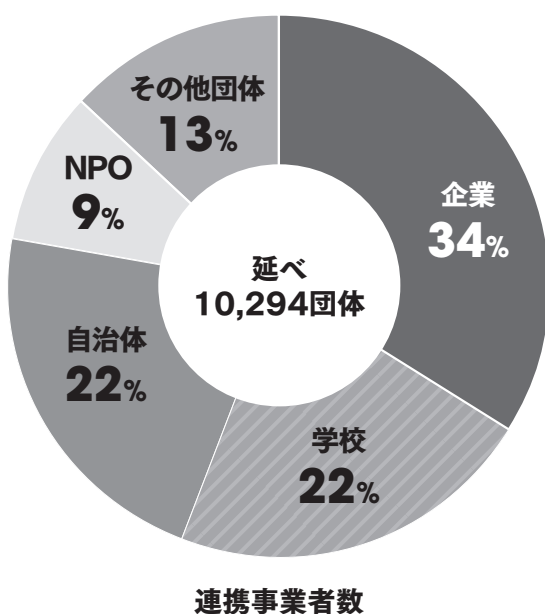
啓発手法	活動数	割合	具体例
座学	44 件	31%	出前講座や講演会などの実施
調査・記録	25 件	18%	排出実態などの調査・記録
情報発信	23 件	16%	パンフレットやチラシの配布
交流・対話	22 件	16%	交流会や相談会などの実施
作業・体験	16 件	11%	ワークショップなどの実施
展示・視察	11 件	8%	パネル展示や施設見学など
計	141 件	100%	

(3)地域センターのネットワーク

(平成 27 年度 55 センターが事業実施の際に連携した団体延べ数)

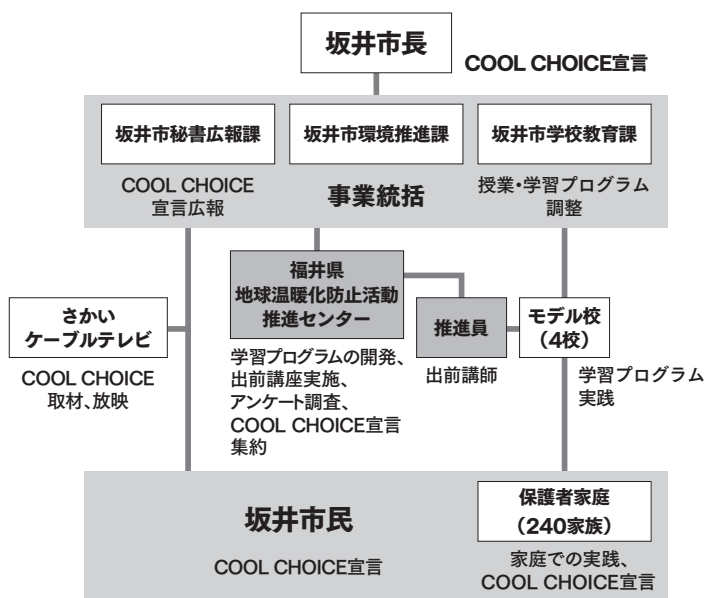
延べ**10,294**団体

地球温暖化防止活動を効果的また効率的に推進するために、地域センターは地域のさまざまな主体と連携しながら、地域のネットワークの中核機関として事業を実施しています。



連携事業者数

「福井県坂井市における平成28年度小学校への出前授業を通じた家庭のストップ温暖化対策授業」事業のスキーム



ネットワーク構築の例(福井県センター)

column

！地域センターへの相談・照会件数

地域センターは温対法に基づいて、市民や企業などから温室効果ガス排出抑制のための相談や照会業務を実施しています。平成27年度の相談・照会件数は、約23,600件にのぼり、4,000件を超える相談が寄せられましたセンターもありました。

地域センターは、地域での温暖化防止のさまざまな疑問に応える拠点を目指して活動しています。



相談窓口(川崎市センター)

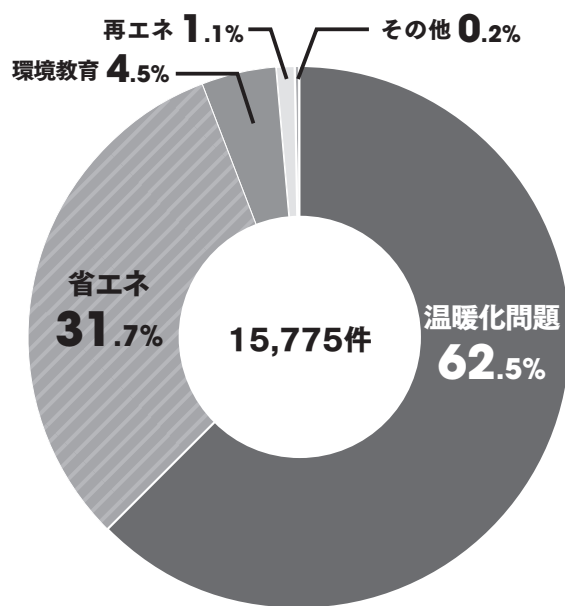
(4)地球温暖化防止活動推進員の活動

(平成 27 年度推進員の活動実績)

15,775 件

推進員は、都道府県、指定都市などの首長によって委嘱され、地域センターがさまざまな事業、活動を行う上で、重要な役割を担っています。主に温暖化問題、省エネに関するテーマを中心に、企業や学校での出前講座、イベントでの普及啓発活動を実施しています。推進員の委嘱数は平成 28 年 7 月現在、6,604 名となっています。

地域センターは、地域で活躍する推進員の拠点として、その活動を支援しています。

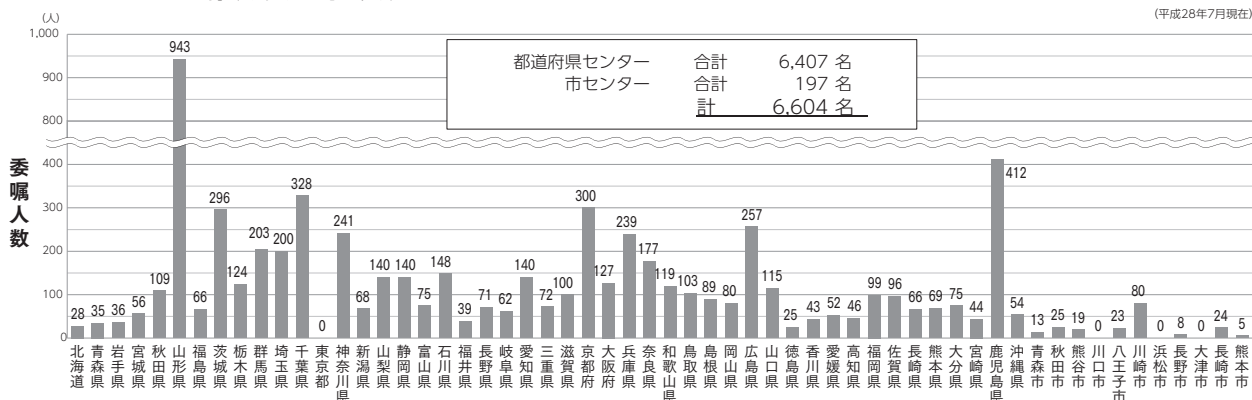


イベントの様子(東京都センター)



ツールを用いた説明(長野県センター)

推進員の活動数






地域センター

平成28年度地球温暖化防止活動推進員 委嘱人数

3 全国58センターの特徴的な活動事例

■ 特徴的な活動事例のテーマと手法について

テーマ	 エネルギー	省エネや再生可能エネルギー等に関すること	 温暖化問題	気候変動やその影響等に関すること	 機器買替	省エネ機器等への買替えに関すること
	 木の地産地消	林業活性化や木材の地産地消等に関すること	 スキルアップ	推進員や職員等のスキルアップに関すること	 リサイクル	ごみ減量やリサイクルに関すること
手法	 イベント	イベント会場での展示・体験等	 講座	セミナーやシンポジウム、出前講座等	 エコドライブ	エコドライブ講習やシミュレータ、実車での教育等
	 省エネ診断	省エネ診断やうちエコ診断、環境家計簿等	 情報発信	チラシ・パンフレット・インターネット・ラジオ等	 地域活動	地域主導の事業や地域と連携した団体の立ち上げ等
	 その他	その他の手法				

北海道センター

テーマ 地球温暖化ふせぎ隊事業



プログラム開発、実践、貸出、指導者育成

さまざまな状況に合わせた環境学習プログラムを企画し、地域の指導者やNPOとも連携して年間30件程度実施しています。地域への波及、定着を目指して、児童への実践の場も含めた指導者養成講座の実施、相談内容に応じたプログラム提案、進行レクチャー、資材貸出やデータ提供等も行っています。2015年より都市部の児童を近郊フィールドに連れ出し「ライフスタイル」をテーマとした屋外体験プログラムの開発も進めています。



▲「暖かさを得る工夫」を体験 PG

青森県センター

テーマ 子どもたちを対象とした地域での環境出前講座



推進員とセンターが連携して県内各地で展開

県内の児童館や公民館、イベント等で、推進員を講師とした体験型環境出前講座を実施しています。省エネやリサイクルについてゲーム形式で考えるものや、エコせっけんやエコキャンドル作りの体験を通して、大人も子どもも楽しみながら地球温暖化防止について学べるように工夫しています。毎年申込件数が増加しており、リピーターも多く、地域もほぼ県内全域にわたります。



▲省エネルギー体験講座の様子

青森市センター

テーマ 青森市環境フェアの開催



推進員や地元企業とセンターが連携して開催

青森市環境フェアは、環境について遊びや体験を通して学ぶイベントとして、毎年12月の環境月間に開催しています。平成27年度の環境フェアでは、11月に開催されたばかりのCOP21を受けたさまざまな展示を行い、推進員が分かりやすく説明しました。そのほか、青森市の住宅向け各種補助金の紹介、廃食油キャンドル作りや「ゴミの出し方クイズ」、子供達に人気の古紙飛行機作りや手回し発電体験など、企画を工夫して開催しています。



▲大人にも人気の手回し発電体験。

3 全国58センターの特徴的な活動事例

岩手県センター

テーマ ecoチャレンジいわて夏



省エネ・節電を応援、クールシェアに挑戦

省エネ・節電のための県民を対象としたキャンペーンで、夏場の節電対策（避暑）のため県内のクールシェアスポットを発掘して応募するクールシェアコース、前年同期の消費電力より削減できた家庭が応募するチャレンジコースの2つがあります。応募の呼びかけと並行して、クールシェアスポットへは公共交通機関を利用すること、エネルギー消費量チェックのための環境家計簿等利用について、啓発しています。



▲応募呼びかけキャンペーンチラシ

宮城県センター

テーマ 世界とオランダカ



COP報告会やキリバス環境出前講話の実施

毎年年末に開催されるCOPに合わせ、COPに関する事前学習会や派遣者を招いた事後報告会を開催し、温暖化に関する世界の動向の啓発事業を実施しています。また、2016年度からは温暖化の影響を受ける最前線国と言われる太平洋の小さな島国「キリバス共和国」の文化や暮らしを通し温暖化について考えるキリバス環境出前講話を実施しています。講師として、宮城県在住のキリバス人を派遣しています。



▲小学校でのキリバス環境出前講話の様子

秋田県センター

テーマ 環境学習の推進



子どもたちへの温暖化防止活動の啓発

地球温暖化の現状や対策の重要性について子どもたちへ啓発することにより、地域の方々の活動促進につなげようと、保健所や教育委員会などと連携して学校や地域のサークル等での学習会を実施しています。環境学習会に参加した子どもたちはみんな積極的で、現在は年間5～6件程度の実施ですが、今後要望数の伸びが期待できます。



▲小学校の環境学習会の様子

秋田市センター

テーマ 多世代アクション「あきエコどんどんPJT」



アプリ活用による市全域での温暖化対策推進

温暖化対策専用アプリを活用したエコアクションポイントシステムを基に、秋田市、推進員、NPO、事業者と連携し、全市域の公共施設やスーパー等で規定の“CO₂削減行動”へポイントを付与し、実施アクションによる積算CO₂排出削減量の通知（見える化）を実施。また、専用フォームからの「COOL CHOICE 宣言」（地球温暖化対策のための国民運動）への賛同を促し地球温暖化防止を推進しています。



▲マスメディアを活用した広報各種

3 全国58センターの特徴的な活動事例

山形県センター

テーマ 日本一推進員が多い県！地域連携で進めるストップ温暖化



「地域での連携」を大切に推進員さんたちと日々活動中

山形県は推進員の委嘱数が日本一です。推進員の中には一般公募の方や環境マイスター（自動車、家電、サッシ・ガラス部門）で委嘱された方がいます。また、県内8割の市町村に地球温暖化対策地域協議会が設立されており、推進員、市民団体、企業、行政、センターが連携して活動を行っています。環境フェアの開催や既存イベントへの出展、環境講座の開催と各立場の専門性を活かしつつ、「ストップ温暖化」を呼びかけています。



▲「環境フェアつるおか2016」の様子

福島県センター

テーマ ふくしま再エネ事業の推進とネットワーク



再エネ事業の情報交換・セミナー開催など

福島県内で再生可能エネルギー（再エネ）の事業化に興味のある個人や団体で、「ふくしま再エネ事業ネット」を組織し、地域の活性化につながるような地域主導の事業化の推進に取り組んでいます。現在の会員数は137。また再エネの普及啓発のため、セミナーや見学会の開催、情報提供などを行い、昨年は学習施設を備えた再エネ施設31か所を掲載した再エネマップを作成し、県内市町村、小中高等学校に配付しました。



▲再生可能エネルギー学習会の様子

茨城県センター

テーマ いばらきエコドライブ推進協議会運営事業



エコモビリティを県民・県内事業所へ普及・啓発運動

いばらきエコドライブ推進協議会を開催し、関係機関と連携・協力して従来のエコドライブにエコモビリティを加えた「スマートムーブ」を、県民・県内事業所に対して普及・啓発する運動を推進しています。この取組みは、昨年度まで環境省補助事業で実施していたものを茨城県事業へ移行し、更に改良したものを引き続き実施しています。



▲推進員と街頭キャンペーンを実施

栃木県センター

テーマ 地球温暖化防止「あなたの街で伝え隊」



「伝え隊」があなたの街でお邪魔します！

センタースタッフと推進員、開催地域の団体の皆さんと、市民が買い物や遊び、休憩などに訪れる場所（図書館、ショッピングセンター、まちの駅など）で、体験やゲームを通した地球温暖化防止の啓発を行います。毎年県内12か所、1か所あたり2日～5日間連続で行います。日常生活の場で実施することで、環境イベントやセミナーにはなかなか参加できない層に啓発することができます。



▲ショッピングセンターでの伝え隊

3 全国58センターの特徴的な活動事例

群馬県センター

テーマ 自転車推進活動



コンソーシアムからつながる市との連携

車からの乗り換えを促すための自転車活用方法として、コンソーシアム事業で実施していた「自転車通勤モニター」から発展した活動です。自転車を公共交通の末端と位置づけ、まちなかでの自転車活用を進めるため、自転車目線で使いやすい「サイクルエコマップ」を前橋市と一緒に作成中です。この活動は地元テレビでも取り上げられ、今後の発展が期待されています。



▲地元テレビの取材を受ける様子

埼玉県センター

テーマ 省エネ診断によるCO₂の削減



家庭から事業所まで省エネ診断でCO₂削減

家庭向けに、いくつかの機関と連携して「うちエコ診断」を広域的に実施しています。事業所向けには「埼玉県省エネナビゲーター事業」の事務局を担当し、県内の家庭・事業所向けの省エネ診断を行っています。スキルを持った診断士や診断員との連携により、うちエコ診断は1,357件、事業所向け診断は581件実施することができました。診断を通したきめ細かなアドバイスによって具体的にCO₂を削減しています。



▲うちエコ診断の様子

熊谷市センター

テーマ みどりのカーテン事業



熊谷市との連携事業

みどりのカーテン事業では、市の補助金や写真コンテストの受付業務に加え、ゴーヤ苗1,600本の無償配布を行うと共に、ゴーヤの育て方講座も公民館等で開催しています。また、みどりのカーテンの実施者の中からモニター（5件）を選び、温度ロガーを用いてカーテンの内側と外側の温度の測定を行い、温度差からみどりのカーテンによるCO₂削減量の推計を行いました。



▲緑のカーテンコンテスト最優秀賞

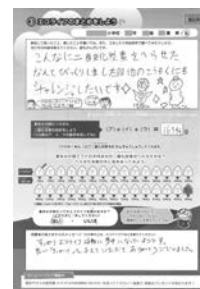
川口市センター

テーマ エコライフバケーション



6,337世帯の親子が夏休みにエコライフ

夏休み期間中の約40日間、親子で地球温暖化防止に取り組む「エコライフバケーション」。2016年度は、29の小学校から6,337世帯に参加していただき、かつ81%が今後も続けると答えてくれました。家族ぐるみで取り組めるよう、「COOL CHOICE」に関する情報などを掲載した参考資料を保護者にもお渡しし、子育て世代からも地球温暖化防止の輪が広がっています。本事業は、市教育委員会、教員、推進員の協力を得て実施しています。



▲参加者から届いたワークシート

3 全国58センターの特徴的な活動事例

千葉県センター

テーマ 家庭の省エネ簡易診断



イベント等で多くの方に省エネ診断ができる

限られた時間で多くの診断ができるメリットがあり、タブレットPCを用いて診断を行うため受診者との距離が近づき、省エネや温暖化問題について、受診者が納得できる照会・助言ができます。環境見本市でもたくさんの方にお越しいただきました。なお、得られたデータについては、他の省エネ診断の結果等と比較し、精度の検証を行っています。



▲県内最大級の環境見本市での診断

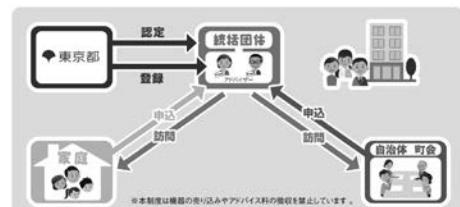
東京都センター

テーマ 東京都家庭の省エネアドバイザー制度



家庭の省エネ対策をわかりやすくアドバイス

東京都では、省エネに関するノウハウ、業務の中で家庭との接点を有する企業・団体と連携し、省エネに関する知識の付与を目的とした研修を通じてアドバイスできる人材を育成しています。家庭の省エネアドバイザーとして各家庭へアドバイスを実施する制度（＝東京都家庭の省エネアドバイザー制度）を構築しました。東京都センターでは、東京都からの委託により本業務の運営を行っています。



▲省エネアドバイザー制度体系図

八王子市センター

テーマ 事業者・団体にエコドライブセミナーを開催



自動車に直接関わる人にエコドライブを普及

市内のタクシー会社（個人タクシー協同組合を含む）をはじめ、運送会社やトヨタ東京自動車大学校など、自動車に直接関わっている方々を対象に、エコドライブセミナーを開催。受講者には、「1. ふんわりアクセル e スタート」に始まる十か条からなる「エコドライブ 10」の宣言書を提出してもらい、市オリジナルのステッカーを配付するなど、エコドライブの普及拡大を図っています。



▲トヨタ東京自動車大学校でのセミナー

神奈川県センター

テーマ 推進員連絡協議会の設立及び推進員大会の開催



推進員の連携及び活動に必要な情報交換の場づくり

現在、神奈川県には240名の推進員がおり、県内8地区でそれぞれ地域特性に合った活動を展開しています。推進員が活動する中での共通の課題を解決し、温暖化防止活動を県民運動として推進していくために、平成26年度に任意団体として連絡協議会を設置するとともに、推進員活動を県民にアピールするため、推進員大会を開催しました。



▲平成27年度第2回大会の様子

3 全国58センターの特徴的な活動事例

川崎市センター

テーマ エコぷらっとかわさきC3(シーキューブ)



さまざまな企業・団体と連携するエコなプラットホーム

親子向けと大人向けの見学会を中心に活動しています。川崎には、日本のものづくりを支える企業が多数あります。そこで環境にかける負荷軽減のために、たゆまぬ努力をしている企業の姿を見て意見交換するバスツアーを行っています。その他、川崎市内の臨海部企業が参画する NPO 法人産業・環境創造リエゾンセンターと協働して、市民と事業者の意見交換会を毎年開催しています。



▲川崎バイオマス発電所を見学

山梨県センター

テーマ エコエネ子どもキャンプ



心に響く自然体験から地球の大切さを学ぶ！

小4～中3 対象、自然体験を通してエネルギーの「循環」と「つながり」を考える教育事業。森からの恵みを使って調理する「地産地消のおやつ作り」や明かりのない夜を体感する「ナイトハイク」、「自然の中のエネルギー探し」など、持続可能な社会へ向けて、土台となる「生態系の中でいきていること」「太陽をスタートとしたエネルギーがめぐっていること」を心と体で学んでいきます。



▲自然の中は「！？」がたくさん！

静岡県センター

テーマ ふじのくにエコチャレンジ事業



10万人以上が参加する温暖化防止の県民運動

当団体発案で2006年にスタートした県民運動は今年で11年目。資金調達から企画運営までを事務局としてセンターが担い、企業・団体・県・全市町と連携した事業を展開しています。例年10万人を超える県民が参加、10年間の積算人数は述べ約135万人にのぼります。また2011年度からは、地域の推進員と協力し、年間約100校の小学校で実施している環境教育事業とも連携、拡大を続けています。



▲授賞チーム集合写真

浜松市センター

テーマ エコハウスから発信する浜松の温暖化防止



楽しい講座をエコハウスで快適に！

浜松市エコハウスは、日差しの調整ができるオーニングやペレットを燃料にしたストーブ等の環境に配慮した設備や機器、風や熱の流れを工夫した建築手法を実際に体験できるモデルハウスです。エコハウスを体感してもらうため、センターでは料理教室やクラフト教室等の各種イベントを実施（平成28年度は全部で34のイベントを実施）して、参加した皆さんからは、快適な上に環境と家計にやさしいと好評です。



▲エコクラフト教室の様子

3 全国58センターの特徴的な活動事例

新潟県センター

テーマ 市町村と連携した温暖化防止プログラムの実施



わかりやすく・楽しい省エネの普及

当センターでは市町村や推進員と連携して、エコドライブシミュレーターを使ったエコドライブの普及、ゴーヤ種の配布や育て方講習会の開催などによる「緑のカーテン」の普及、家庭の電気使用量が見られる「省エネナビ」の設置による省エネの普及などを行っています。特にエコドライブシミュレーターは市町村のイベントなどで楽しくエコドライブを学んでもらっています。



▲エコドライブシミュレーター講習

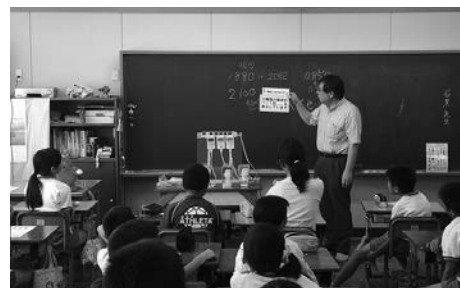
富山県センター

テーマ とやま環境チャレンジ10事業



事業開始から13年目の富山県の独自事業

県内各小学校の10歳の児童（小学校4年生）が、地元で活動している地球温暖化防止活動推進員が行う授業で地球温暖化問題を学び、各家庭における節電等の10の取組みを決めて、家族とともに一定期間対策を実践し自己評価するという一連の行動を通じて、取組みを継続することで家庭における地球温暖化対策の推進を図っています。



▲地球温暖化防止活動推進員による授業

石川県センター

テーマ いしかわ環境フェアの開催



来場者2万人超で県内最大の環境イベント

地球温暖化防止活動推進のため、CO₂削減の取組み紹介ゾーンを設けるほか、センターとしてブース出展やアンケート調査を実施しています。いしかわ環境フェア2016では、人力発電のミニ北陸新幹線を出展し2日間で約2,000人が電気の有難みや電化製品との電力量の比較を体験し、環境フェアで特に良かった（印象に残った）ブース第1位に選出されました。



▲家族連れで賑わうセンターブース

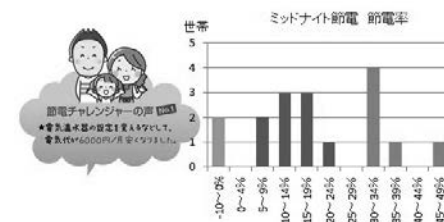
福井県センター

テーマ ミッドナイト節電事業



30%以上節電達成世帯は1か月平均4,200円減！

福井市内スーパーマーケット店頭で深夜電力利用者に呼びかけ、アンケートに記入調査を実施。回答者の中から希望者に深夜電力の節電を助言し、一部の世帯には省エネナビの設置をしました。ミッドナイト節電に取り組んだモニター17世帯の平均で、1月は151kWh、CO₂で100kgの削減ができました。30%以上節電を達成した人は、1か月平均4,200円の電気料金が安くなりました。自動運転の深夜電力も節電効果が大きいことを提案しました。



▲ミッドナイト節電アンケート

3 全国58センターの特徴的な活動事例

長野県センター

テーマ 信州省エネパトロール隊



事業所の省エネルギー診断を無料で行います

エネルギー管理士や電気主任技術者などの資格を有する、(一社)長野県環境保全協会会員企業を中心とした各企業の省エネ専門家が、中小製造業、商業施設、病院、公共施設等の設備の「省エネルギー診断」を現場で実施し、自分たちの持っている省エネのノウハウを生かして具体的な改善事項の指摘と改善案を提示します。これまでに400を超える事業所が受診し、大きな成果を上げています。



▲「信州省エネパトロール隊」の活動風景

長野市センター

テーマ エコドライブシミュレーターによる体験講習



体験後のアンケートによる効果確認

イベントや出前講座などでエコドライブ講習とあわせて、多くの受講者にシミュレーターを体験してもらい、運転評価と改善点の指導をしています。その後独自のアンケート調査を実施し、今後のエコドライブ実施の意思などと、省エネルギーセンターの燃料削減データから炭酸ガス排出量削減効果を算出しています。平成27年度回答者334人の合計二酸化炭素排出削減量は69tでした。



▲シミュレーターで運転をチェック

岐阜県センター

テーマ ストップ！地球温暖化教室



産官学の協働で実施する全6回の充実したプログラム

地球温暖化防止のための教育を推進することを目的として、体験しながら省エネルギー行動や地球温暖化対策の重要性について学ぶ出前講座です。岐阜県、中部電力株式会社岐阜支店及び岐阜県地球温暖化防止活動推進センターの協働により、県内の小中学校で実施しています。6単位の講座で構成されており、「実験」や「クイズ」を交え、児童・生徒が楽しみながら学ぶことのできる環境教育プログラムです。



▲講座の様子

愛知県センター

テーマ 気候変動テキストの作成



さまざまな使い方が工夫次第

気候変動テキストでは、IPCC第5次評価報告書に基づく内容・データと愛知県内のデータや事象等を紹介し、地球規模の気候変動を身近に捉えることができます。テキストはメッセージ、データ、説明、事例の各スライドに分類され、自分のスライドの根拠として使う、1枚を主題として使い参加者にも配布する、スライドを並び替えてストーリーを組む方法等、さまざまな使い方の工夫ができるようになっています。



▲テキスト活用の推進員セミナー

3 全国58センターの特徴的な活動事例

三重県センター

テーマ みえ環境フェア・出前講座



受講者に応じたきめ細かな啓発プログラム

三重県センターでは、温暖化防止月間である毎年12月に三重県とともに、推進員、企業・団体、学校等の参加により、地球温暖化防止を県民とともに考える「みえ環境フェア」を開催しています。また、フェア開催に伴うCO₂は全て三重県産のクレジットを用いてオフセットします。日常活動では、推進員による生ごみのコンポスト技術の普及、自転車発電体験、小学校等における出前講座等の充実した啓発活動を推進しています。



▲みえ環境フェア 2015の様子

滋賀県センター

テーマ 出前講座・イベント啓発に向けた教材開発



推進員との協働による教材開発と普及啓発

滋賀県センターと推進員が自主的に結成した教材開発チームが連携し、びわ湖と温暖化をテーマにした「〇〇ボックス滋賀県バージョン」など地域型教材をはじめとする出前講座向けの教材集開発や出前講座の担当推進員の活動支援のためのマニュアル作成や動画づくりに取り組んでいます。また、滋賀県センター版PDCA型の「低炭素社会づくり学習支援システム」を導入し、出前講座の継続的改善や推進員のスキルアップを図っています。



▲小学校での出前講座の様子

大津市センター

テーマ 地球温暖化防止事業



人間環境都市・大津づくりを目指す

家庭向けの省エネ促進として、エコライフデー・家庭省エネ簡易診断・うちエコ診断を実施しています。エコライフデーは学区自治会と連携し毎年2地区で実施しており、エコライフデーを行った地区で翌年「うちエコ診断」の受診希望者を募る予定です。また、事業者向け省エネ促進として、企業の省エネ診断・省エネ講座・KES推進、市民全般向けに、温暖化や生物多様性に関する講座・体験学習等を行っています。



▲エコライフデー調査用紙

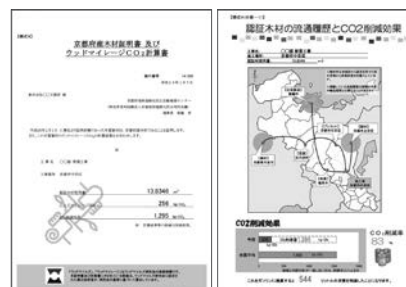
京都府センター

テーマ 京都府産木材認証制度 指定認証機関



産地証明+環境指標を表示し地産地消を推進

行政でも業者でもない第三者機関として『京都府産木材証明書及びウッドマイレージCO₂計算書』を発行しています。これは木材の産地だけでなく、木材輸送時の二酸化炭素排出量（ウッドマイレージCO₂）も計算して表示・証明するもの。環境指標の表示により「地域材利用が増えれば地元の産業活性化だけでなく地球温暖化防止にもつながる」という付加価値を明確にし、木材の地産地消とCO₂削減の両立を図っています。



▲証明書（サンプル）の一部

3 全国58センターの特徴的な活動事例

大阪府センター

テーマ 幼児期における環境教育推進事業



環境リーダーの育成と子育て世代への啓発

泉大津市こども未来課と協働し、市内すべての保育所および幼稚園において大阪市内の専門学校と連携して「温暖化学習」を実施しています。専門学校生に幼児向けのカリキュラムの作成と実施を指導することにより、環境教育のリーダーが養成されるとともに、子どもたちには小さい時からの環境に対する意識の醸成ができ、相乗効果をもって地球温暖化に対する関心を広めていくことができる効果的な取り組みです。



▲発電実験の様子

兵庫県センター

テーマ 地球温暖化防止活動推進員活動支援事業



推進員の自主的なグループ活動支援

地球温暖化防止活動推進員の自主的なグループ活動に対して、活動経費を支援する事業です。支援内容は①活動支援(上限年6千円/人)②啓発事業支援(上限10万円/1連絡会)となっています。支援によって実施された活動は2,316回(平成27年度)となっており、地元の学校への出前教室、環境イベントでの温暖化防止の啓発や家庭でできる省エネ講座の開催等が実現しました。



▲小学校への出前教室の様子

奈良県センター

なら みやこ

テーマ ライトダウン～平城の京から、地球を想う夜。～



手作りソーラーランタンの灯りで夜を楽しむ

独自に開発したソーラーランタンを制作する地球温暖化防止講座を開催し、子どもたち・大人が、工夫を凝らしたソーラーランタンを手作りします。七夕ライトダウンの日は、みんなのソーラーランタン作品を並べ、家庭の電気を消して、家族でライトダウンのイベントに出かけ、自然エネルギーの灯りを楽しむことで、エネルギーについて考えたり、省エネ実践のきっかけとしてもらいます。



▲手作りソーラーランタンの灯りを楽しむ

和歌山県センター

テーマ 市民参加で森づくりのための体験学習会



木質バイオマス利用のため山に入って実習

和歌山県センターではこれまでに、森林の利活用を促進するためのイベントや活動を行ってきました。県の森林面積は77%と全国で6番目に多く、エネルギー対策の一つとして木質バイオマス活用することで、生産と消費の活性化が見込まれることから市民参加型の取り組みを実施しました。具体的には、全国で展開されている「個人で林業を営む人々」を増やす自伐林家育成の専門家を招き、実際の活動の流れについて学びました。



▲木材排出作業の実習風景

3 全国58センターの特徴的な活動事例

鳥取県センター

テーマ 夏休み自然エネルギーツアーinとっとり



大学生や推進員と進める低炭素社会づくり

3年間で延べ530人参加の再エネ率30%超の「自然エネルギー県とっとり」を夏休みの小学生が学ぶバスツアー。引率・指導は、推進員である公立鳥取環境大学生が担います。再エネ施設見学、ストップおんだんか教室、自然エネの工作や調理、伝える担い手になるためのポスター制作など普及啓発のフルコース。推進員活用・学生の人材育成・小学生家庭対象の実践促進等、低炭素社会構築の基盤づくりとして企画運営しています。



▲自然エネルギーを楽しく体験！

島根県センター

テーマ 親子で取り組むもったいない生活事業



未就学児と保護者を対象とした普及啓発

地球温暖化や身近なエコについて未就学児と保護者がともに学び、環境配慮行動を促すことをねらいとした取組みです。幼稚園、保育園を所管する県各課と連携して、各園にワークシートによる取組みを促し、平成27年度は延べ98園、3,097名の園児が参加しました。また、延べ69名の推進員が各園を直接訪問し、地球温暖化などをわかりやすく伝えるワークショップを実施し、50園、1,463名の園児が参加しました。



▲幼稚園での絵本の読み聞かせ

岡山県センター

テーマ 協働による環境学習推進事業



効果的な環境学習を他団体と協働により推進

岡山県がより良い環境に恵まれた持続社会の実現に向けて、協働による環境学習を推進するため、行政や環境NPO等の様々な主体による協働の場として設置した「環境学習協働推進広場（かんきょうひろば）」の運営を行っています。みんなで連携し、知恵とパワーを出し合うことで、個々では難しかった活動、例えば環境学習指導者の養成、環境学習出前講座、行政への事業提案などを実施しています。



▲環境学習出前講座

広島県センター

テーマ 地球温暖化対策地域協議会の視察交流事業



事業の相互視察で運営力向上と活性化を図る

県内の25地域協議会に参加を呼び掛け、主催13事業（学習会やエコクッキング教室、エコドライブキャンペーンなど）を相互に視察・体験し、ノウハウや課題等を共有して事業運営力の向上と活動の活性化を図りました。延べ118人の推進員が参加、「学んだことを来年度事業に反映する」との感想が多数ありました。後日、独自取材や再訪問するケースもあり、推進員の交流も活性化しました。



▲出前講座的一幕（消費電力測定）

3 全国58センターの特徴的な活動事例

山口県センター

テーマ 家庭におけるストップ温暖化診断の実施



推進員が診断員となり家庭の省エネ診断

山口県独自の家庭の省エネ診断である「家庭におけるストップ温暖化診断」は、県民に家庭の省エネに関する調査項目に答えてもらい、地球温暖化防止活動推進員が診断員となって、各ご家庭にあった省エネアドバイスをお伝えしています。年間 500 世帯以上の県民が、イベントや講演会で、また自治会や企業・団体等で実施しています。



▲自治会で温暖化診断結果報告会

徳島県センター

テーマ 徳島県学生地球温暖化防止活動推進員



県内大学生等による地球温暖化対策の推進

当センターは、環境活動に関心・熱意を持つ大学生等を学生地球温暖化防止活動推進員に任命しています。学生推進員は、温暖化防止を県民へ呼びかけるパレードや、各種イベント開催時の環境啓発・美化活動、学校での環境出前講座などを行っています。また、推進員の資質向上や相互交流を図るため、研修会や合宿を実施しています。大学卒業後も、各地域や職場等で環境活動の中心的役割を担うことが期待されます。



▲温暖化防止を呼びかけるパレード

香川県センター

テーマ 香川県の地球温暖化防止の活動拠点



いつでも誰でも気軽に環境の大切さを学べる

香川県センター「せと eco・かがわ」は、地域や学校などで行う温暖化防止活動の拠点として、図書やエコグッズなどの貸出や資料の提供及び出前講座などを行っています。また、窓口でくらしの中の省エネ相談を受け付けており、家庭での省エネについてのアドバイス事業をしています。そのほか、環境イベントの開催等で広く県民の皆様に温暖化防止についての普及啓発に努めています。



▲センター内でのイベントの様子

愛媛県センター

テーマ 行政機関と連携した地球温暖化防止啓発活動



県民に対して「地球温暖化防止」を啓発

当センターのストロングポイントは母団体である「公益社団法人 愛媛県浄化槽協会」が培った行政機関との連携・信頼・実績の礎のもと、行政機関等との連携によるイベントにおいて、啓発活動（情報提供、アンケート調査、ワークショップ等開催）を実践できることです。多くの県民の方に参加していただいているほか、当センターが参加した「かわらぬ愛きくま 2016」では、愛媛 CATV から取材を受けました。



▲TV 取材の様子

3 全国58センターの特徴的な活動事例

高知県センター

テーマ 物部川流域まるごとエコシティプロジェクト



物部川流域3市における流域単位での活動

物部川流域の南国市、香南市、香美市を重点地区として2か年に渡って実施した「コンソーシアム事業」で、住民参加型の省エネキャンペーンや、小・中・高校生による「美南国に集まれ！子どもeco活動交流会」の開催を、3市の環境部局及び市教委やNPO、企業、マスコミ等と協働で行いました。交流会は事業終了後も3市の持ち回りで開催されており、センター及び3市連携の温暖化防止活動も継続しています。



▲ H27 年度に開催した交流会の様子

福岡県センター

テーマ 将来を支える次世代人材の育成事業



幼い園児たちがエコ活動を学び、実践する

園児や児童を対象とした出前講座に講師を派遣し、地球が温暖化していることや電気や水の大切さを紙芝居や教材を使って易しく説明し、節電や節水など自分たちが今できることを学び、子ども環境家計簿等を使って家でエコ活動を実践してもらっています。また、子どもの保護者も一緒にエコ活動に取り組むことでエコ意識が高まり、家族全員で温暖化防止のために行動する「エコファミリー」を増やしています。



▲講師の話を熱心に聞く園児たち

佐賀県センター

テーマ 未来へつなごう！人と環境にやさしいまちさが！



合言葉は「つながりと連携で未来を創造しよう」

6年目を迎える「さが環境フェスティバル」は、環境団体を始めとする行政・企業・教育機関が一堂に会し、自然観察体験・環境工作等を通じて、来場された方に自ら実践できる温暖化対策の気づき等をアピールしています。また、この機会を活用して県内環境団体等の活性化及び出展者同士の交流が図られ、温暖化防止の普及啓発に係るさまざまな課題解決に寄与しています。



▲ COOL CHOICE 体験コーナーが賑わっています

長崎県センター

テーマ COOL CHOICE事業



目指せ！30,000 COOL CHOICE宣言

長崎県内の推進員が集う全体研修会の中で、県下で3万名分のCOOL CHOICE賛同を集めることを目標として定め、回収計画を立て推進員全体で共有しました。現在、県内10地区・67名の推進員及びセンタースタッフのあらゆる人脈・ネットワークを結集し、COOL CHOICEの普及啓発、賛同者獲得に向けて事業を推進しています。推進員の底力にご期待ください。



▲全体研修会での決意の模様

3 全国58センターの特徴的な活動事例

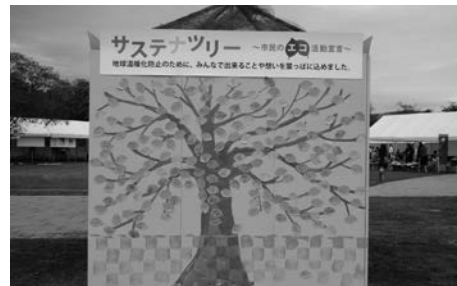
長崎市センター

テーマ ながさきエコライフ



だれでも、いつでも、簡単に、エコライフ！

ながさきエコライフ・フェスタ（身近な環境・エコ行動を提案し、気軽に楽しめる環境イベント）ながさきエコライフ・ウィーク（フェスタ後の一週間を、家庭、職場などさまざまな場所でエコ活動を実践してもらう）ながさきエコネット（ウィーク以降の継続行動として、ながさきエコネットに参加し、楽しく継続してもらう）の3ステップで、市民に身近で持続可能な環境・エコ行動推進のための企画・運営を行っています。



▲市民のエコ活動宣言@エコフェス

熊本県センター

テーマ 地方公共団体実行計画策定の協議会を開催



策定する際のポイント解説や課題を解決

市町村の地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策）策定を支援するため、参考書を作成し、熊本県及び県立大学教授の協力のもと勉強会を開催しました。勉強会では、地域特性を踏まえた目標設定のあり方や、計画の実施及び検証方法についても協議し、地域センターや協議会、推進員との連携を図る旨を説きました。この結果、2市町が区域施策を策定し2町が策定を検討するに至りました。また、このような場を活用し、国民運動「COOL CHOICE」の展開を図っています。



▲自治体職員が参加した協議会

熊本市センター

テーマ CO₂ダイエットクラブ会員の活動支援



2,300世帯の会員への節電・省エネの支援

広報誌「わくわく温暖化対策」を発行し、温暖化対策の情報を提供するとともに、夏、冬の2回、「CO₂ダイエットクラブ通信」を配布して節電・省エネの情報提供を行っています。また、会員に電気使用量のお知らせの提出や環境家計簿の作成をお願いし、エネルギーの使用実態と削減状況を把握するための調査を行っています。希望者には、エコドライブ診断を実施し燃費向上も図っています。



▲CO₂ダイエットクラブ通信

大分県センター

テーマ CO₂削減推進事業・エコドライブ推進事業



地域・団体・自治体等と連携した活動展開

地球温暖化対策を身近な問題として感じてもらうよう、地域での出前講座、専門講師をお招きしたセミナー、地球温暖化防止推進大会等を開催しています。うちエコ診断も6年目に入り、900件を超える家庭に合わせた省エネ・CO₂削減対策を提案しています。また、県内の低炭素活動をこれまで73例収集し、低炭素社会に向けた地道な活動を継続しています。



▲次世代環境学習ワークショップ

3 全国58センターの特徴的な活動事例

宮崎県センター

テーマ 東大宮CO₂削減倶楽部



地域住民を中心に環境価値の地区内還元

宮崎市東大宮地域の自治会長を中心に立ち上げた団体。ソーラーパネルを設置している家庭を対象に、太陽光発電システムで発電された電力のうち、自家消費電力分の環境価値を認め、CO₂削減量を証書化し、「見える化」しています。地域で環境配慮に取り組む企業に証書を販売し、その売上げを地域スーパーの割引券等の発行や、地域内の子どもを対象とした環境教育に活用する等、地域の活性化を目的とする活動をしています。



▲東大宮 CO₂削減倶楽部役員会の様子

鹿児島県センター

テーマ 地球温暖化対策セミナー



県民や県内企業等への情報提供

日常生活や事業活動から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスが原因で、地球温暖化が進んでいます。今、私たち一人ひとは、積極的に環境への取り組みを行う必要があり、地域や企業においても環境への取り組みが求められています。本セミナーでは、地球温暖化に関する講演、企業や団体の県内での取り組み事例紹介などを通じて、地球温暖化問題を考える機会としております。



▲地球温暖化に関する講演

沖縄県センター

テーマ エコドライブ事業



エコドライブによる地球温暖化対策

沖縄県は陸路の移動手段の多くを自動車に依存しており、温暖化対策を進める上で自動車の対策が重要です。沖縄県センターでは、平成23年度よりエコドライブの実車教習（実際に車を運転し学ぶ教習）を行っており、平成28年10月1日現在で2783名が受講（平均燃費改善率約19%）しています。また、自動車学校に対してエコドライブの指導方法を伝えることで、エコドライブの学ぶ場づくりにも取り組んでいます。



▲エコドライブ教習実施風景

column

！ 地球温暖化防止活動を表彰する取り組み

低炭素杯

次世代に向けた低炭素社会の構築をめざし、多様な主体が取り組む、地球温暖化防止に関する活動を表彰する制度を通じ、全国の優れた取り組みのノウハウや情報を共有し、さらなる活動への連携や意欲を創出する仕組みが「低炭素杯」です。賞を競い合う場合と同時に、営利、非営利という組織文化の違いに拘わらず、地球規模の課題に取り組む仲間と情報を交換し、ともに同じ目標に向かって連帯を深める場にもなっています。



▲低炭素杯 2016 表彰式の様子

4 地域の担い手たち

藤当 満さん(北海道C)

(推進員)



2010年7月より地域FM局「FMビュー」(室蘭市)で「得するエコ~もったいないが地球を救う」と題して、地球温暖化防止を呼びかけるラジオ番組を放送しています。放送回数は、「300回」を超え、精力的な活動を続ける推進員の一人です。

今 京子さん(青森県C)

(推進員、うちエコ診断士、青森県環境教育専門員)



地域での出前講座で、廃食油をリサイクルしたエコせっけん作り等を実施しています。また、青森県が実施する環境出前講座の環境教育専門員としても活動し、5つの小学校で14の講座を担当しました。明るくわかりやすい講座は子供達にも好評です。

伊東 英俊さん(青森市C)

(推進員)



廃棄物処理企業に勤務して日頃からBDF精製に関わっています。その知識と経験を生かし、小学生や市民向けの環境講座で講師を務め、廃食油を燃料にする意味を説明するだけでなく、BDF車両の排気の匂いを実際に確認するなど工夫を凝らした人気の講座です。

吉田 偉峰さん(岩手県C)

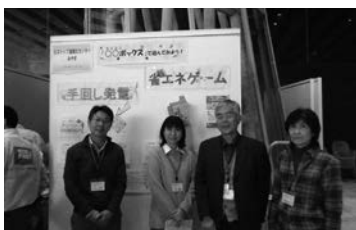
(推進員、環境アドバイザー、一戸町観光天文台台長)



推進員の吉田氏は観光天文台の台長です。エネルギー、地球温暖化、環境問題など幅広い知見を有しており、子どもから大人まで分かりやすい解説、優れたアドバイスを行っています。美しい夜空を守るため、今日も精力的に活動されています。

川村 真貴さん(宮城県C)

(推進員、うちエコ診断士、地球温暖化防止コミュニケーター)



2010年より推進員およびうちエコ診断士として活動を開始されました。学校などでの講師活動のほか、推進員グループ「太陽と私」のメインメンバーとして地域イベントでのブース出展を企画から携わり実践しています。

関 二三雄さん(秋田県C)

(推進員)



東日本大震災をきっかけに節電、節水への気付きから、わが家の節電大作戦に挑戦し、省エネナビ等を使って照明や家電の細かな節電に成功。以降、ごみの減量化、緑のカーテンづくり等々CO₂削減活動に積極的に取り組んでいます。

佐藤 英明さん(秋田市C)

(推進員、地球力・ミSSIONナリー@AKITA 代表)



理科教師としての経験を活かした、温暖化対策講座での実績は圧巻です。推進員で構成する温暖化防止啓発ツール開発検討委員長を担い、数々のツールを環境教育へ提供しています。また、途上国マレーシアでの温暖化対策事業でも活躍中です。

小谷 卓さん(山形県C)

(推進員、庄内地域地球温暖化対策協議会会長)



平成17年度より推進員として活動していますが、その前から学生への指導の傍ら、鶴岡市での環境フェアの開催(平成28年度で17回目)など実施しています。出前講座での講師では大人向けにも子ども向けにも講演ができるスペシャルな方です。

新山 敦司さん(福島県C)

(推進員)



地球温暖化防止活動推進員として会津を中心に活動しています。各種講座や講演会では、温暖化防止の基礎知識や実践活動のアドバイスなどを紹介しています。イベントでは、中心になって同じ地域の推進員と一緒に活動をしています。

川島 省二さん(茨城県C)

(センター職員)



日頃からセンター職員として低炭素社会を実現するため関係する団体等に働きかける一方、休日を利用し、推進員として温暖化防止の普及・啓発活動に取り組むほか、県のアドバイザーとして生物多様性や環境保全活動等にも力を注いでいます。

4 地域の担い手たち

清水 映夫さん(栃木県C)

(推進員、地球温暖化対策地域協議会 MEAK 会長)



推進員として14年活動され毎月「地球温暖化防止活動推進だより」を出されています。県内環境団体で構成するネットワーク会議のメンバーでもあり、現在制作中の中学生がつくる『とちぎ版環境かるた』にもご尽力いただいています。

栗原 正喜さん(群馬県C)

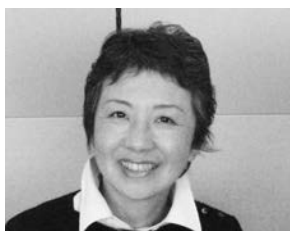
(センター職員)



推進員さんのためならトコトンがんばる若きホープです。推進員さんやボランティア団体さんからも頼りにされています。心強くも優しいイケメンで、「人を大事にする」のがモットーです。

秋元 智子さん(埼玉県C)

(センター職員、埼玉県センター 事務局長)



埼玉県センターで12年事務局長を務めています。日々県内を動きまわってネットワークを広げ、NPOとしての利点を生かし地域の人との連携を図りながら、活動を推進しています。それをスタッフや推進員、理事等が支えてくれています。

マッチャンさん(熊谷市C)

(推進員、センター職員)



限られたセンター職員の中でも、ムードメーカーとしての存在は随一。個性的なコミュニケーションが得意。荒川の水質調査(写真添付)、荒川河川敷の清掃、節電・省エネ相談会、エコドライブ講座等で中心になって活躍しています。

浅倉 孝昭さん(川口市C)

(推進員)



川口市在住の地球温暖化防止活動推進員として、毎年10万人が地球温暖化防止に取り組むエコライフDAYの主担当、イベント対応や町内会でのお話など、多忙な日々を送っています。仕事はきっちり丁寧で、誰からも信頼厚い推進員さんです。

阿部 利美さん(千葉県C)

(推進員、アースドクターふなばし《edf》所属)



船橋市を主に公民館、学校等で子ども～成人まで幅広く、地球温暖化防止の啓発・出前講座を実施しています。今後更に2030年、2050年の新たな目標に向け、市民目線で身近な具体的行動に結び付く、楽しく解りやすい講座を展開していきます。

喜納 愛子さん(東京都C)

(家庭の省エネ技術専門員(通称:エコアドバイザー))



環境省補助金で実施の「家庭向け無料講師派遣事業」講師として、身近にできる省エネの実体験を交えた講演を開催しています。また、中央区環境保全ネットワーク顧問として、自治体・企業・学校と連携し「子どもとためす環境まつり」を企画運営しています。

大竹 邦江さん(八王子市C)

(推進員)



専門分野は家庭の省エネ。平成26年に「家庭の省エネエキスパート」を、平成27年には「家庭の省エネエキスパート」診断・指導級を取得。主に市民センターや町会等を基点に、講座の講師や省エネの相談員として、温暖化防止の普及啓発に努められています。

嶋田 和夫さん(発明オジサン)(神奈川県C)

(推進員、神奈川県環境相談コーナーアドバイザー)



神奈川県環境相談コーナーアドバイザーとして、地球温暖化の啓発や普及に必要なツールの開発を行っています。また、小学生等を対象として、身近な植物などの生態系を題材に出前授業などで親しみのある環境教育に取り組んでいます。

つげじいさん(柘植正躬)(川崎市C)

(推進員、うちエコ診断士、省エネグループ、CCなかはら・地球にいいことプロジェクト)



つげじいは、地球温暖化だけではなく、多摩川の環境をよりよくする活動など幅の広い活動を行っています。地域ごとの活動グループや課題別の活動グループの間を、ゆるい感じで繋ぐキーパーソンです。

4 地域の担い手たち

村山 敬洋さん(山梨県C)

(推進員、一社地域 ESD 事務所つむぐ代表理事、エコふじかわ会員)



地域で、持続可能な暮らしを実践しながら、人と人、人と自然や文化をつむぐ人。大人から子どもまで、幅広く自然体験・エコツアー・林業、さまざまな得意技でエコの輪を広げています。地域協議会のエコふじかわの中心メンバーでもあります！

山本 達雄さん(静岡県C)

(推進員、うちエコ診断士、環境学習指導員)



大人から子供までを対象に、先端技術の専門知識を暮らしに取り入れた啓発活動を実践しています。環境活動は「明るく・楽しく・家族団らんで」をモットーに、地域のさまざまな団体と連携し、共感できる仲間を増やしつつ活動を広げています。

鈴木 通子さん(浜松市C)

(センター職員、エコハウススタッフ)



イベントの対応や、来館者の方へのエコハウスの環境に配慮した設備や建築手法の説明を担当しています。これから家を建てる人やリフォームを考えている方に、環境に配慮した工夫を取り入れていただくために頑張っています。

白井 智雄さん(新潟県C)

(推進員)



市と連携して生ゴミを堆肥化する段ボールコンポストの普及を図っています。また、多くの保育園や小学校等で生ゴミのリサイクルで野菜を作り、温暖化防止、命の循環・食の大切さを教えています。対象は年間1,800人余に上ります。

中島 晴美さん(富山県C)

(推進員、(公財)とやま環境財団 協働推進員、うちエコ診断士)



とやま環境チャレンジ10等に際し、推進員との調整役として重要な役割を果たしているほか、地元(高岡市)のNPO団体「環の会」の会長として、児童とともに環境保全活動を精力的に行うなど、熱心に取り組んでいます。

橋本 忠さん(石川県C)

(推進員、うちエコ診断士)



県センターの各種事業に助言や協力を頂いているほか、県省エネルギー推進協議会長として地球温暖化対策についての普及啓発活動、NPO法人のメンバーとして木質バイオマスエネルギーによる二酸化炭素削減など多様な活動を実践されています。

中屋 弘さん(福井県C)

(推進員、アースサポーター福井会(推進員で構成する任意団体)すぐエコくらぶ担当)



イベント等で「エコライフ診断」を実施して、参加者から会員を募集した環境家計簿の記入会員グループ「すぐエコくらぶ」を結成しています。集まった環境家計簿を分析し、会員交流会でCO₂削減ノウハウ等を交流しています。

宮澤 信さん(長野県C)

(推進員)



「大きな視点で地道な活動」をモットーに、仕事上で取得したエネルギーなどの資格と、趣味で取得した気象予報士の資格を生かし、センター所有のデジタル地球儀「触れる地球」を使用して、全県を飛び回って解説をしていただいています。

堀池 政史さん(長野市C)

(センター職員、長野市センター政策部長)



センター設立前から環境を守る活動に取り組んでおり、長野市の温暖化防止活動をリードしてきました。活動計画策定から啓発グッズの自作、コミュニティFMの番組司会までこなし、困ったときは堀池さんと周囲から頼りにされています。

事務局の杉山さん(岐阜県C)

(うちエコ診断士、センター職員)



勢いとパワーがあふれる岐阜県センターの事務局員。従事歴は長くないが、得意のコミュニケーション力で推進員と事務局の先輩たちから情報と知識をどんどん習得しています。前にしか進まない(進めない?)パワフルな事務局員です。

4 地域の担い手たち

大須賀 哲夫さん(愛知県C)

(推進員、豊橋うみがめクラブ代表)



愛知県豊橋市在住の大須賀氏は、推進員として毎年30回以上、学校や一般市民、企業等への啓蒙活動を精力的に行う一方、地元の海岸にやってくるアカウミガメの調査や保護活動をクラブのメンバーや豊橋市と協力して行っています。

菅瀬 勝さん(三重県C)

(推進員、地球温暖化防止コミュニケーター)



仲間の推進員とともに小学校や公民館において、出前講座を通じて温暖化防止や食品ロス削減等啓発活動に取り組んでいます。教科書を参考に独自プログラムを作成し楽しみながら理解できるよう工夫しています。

松田 明子さん(滋賀県C)

(推進員、うちエコ診断士、地球温暖化防止コミュニケーター)



推進員になられて8年間、広く学習を進められ、現在推進員の地域グループリーダーや地元環境審議会委員等地域の代表として活躍されるとともに、年間50以上の講座やイベント啓発を実施され、当センターの活動を牽引する中心的な存在です。

河原林 晋さん(大津市C)

(推進員、うちエコ診断士、KES主幹審査員、家庭の省エネエキスパート、地域カーボンカウンセラー)



KES主幹審査員としてKESマネジメントシステムの審査に従事し、滋賀県の温暖化防止活動推進員やうちエコ診断士として活動する傍ら、大津市センターの行事である市民環境塾において家庭の廃棄物削減や省エネ等の講座の講師を務めています。

川内 弘睦さん(京都府C)

(推進員)



電気屋の生き残りを考え自然エネルギーに着目。「まちのエネルギー屋さん」として、太陽熱温水器等の施工販売を生業に。地元産薪ストーブの開発にも携わりその施工販売も。他の推進員らと連携して、子どもたちへのエネルギー教室も実施。

西村 優子さん(大阪府C)

(推進員)



推進員のチーム活動「3R推進チーム」代表を務め、3Rについて、教科書での取り上げ方や自治体での普及啓発方法の事例収集を行うとともにリユースびん入り飲料「茶々」を開発し、販売することを通じてリユースによる温暖化対策を推進しています。

津田 和典さん(兵庫県C)

(うちエコ診断士、再生可能エネルギー相談支援センター相談指導員)



電力会社OB職員としての知識、経験を生かし、個人住宅や公共施設への太陽光発電や集落等での小水力発電の導入相談を受け、時には現地調査をして専門的指導助言を行うリーダー的存在です。また、うちエコ診断士としても活躍しています。

仲尾 京子さん(奈良県C)

(推進員、地球温暖化防止コミュニケーター)



廃園となった保育園を借り、地域おこしの拠点「NPO法人うだ夢創の里」として、自然農の田んぼ、カフェ、体験教室、配食サービスなどを手がけています。推進員として、化石燃料に頼らない自然農の稲作教室をNPO法人奈良ストップ温暖化の会と共催しています。

多田 祐之さん(和歌山県C)

(推進員、紀南地域協議会 代表)



県の推進員第1期生として活動を行い、今年で11年目。地域の推進員と薪の利用者が一緒に山に入り活動を行う「紀南薪ぐらしネット」のメンバーとしても活躍されています。地域の特産である「梅」を熱利用するための薪づくりが主な活動内容です。

宮崎 靖大さん(鳥取県C)

(推進員)



自然豊かな環境に憧れて鳥取環境大学に入学した彼は、在学中に推進員となりセンターのスタッフとしても大活躍。卒業後は鳥取県内に就職し、地元住民として馴染みつつ仲間を巻き込み楽しい低炭素活動を実践し推進員としても大活躍中です。

4 地域の担い手たち

石原 孝子さん(島根県C)

(推進員、うちエコ診断士、地球温暖化防止コミュニケーション、しまねエコライフサポーターズ代表、しまね環境アドバイザー)



県内推進員のネットワーク組織である「しまねエコライフサポーターズ」の代表として、推進員の連携強化と、地域に密着した温暖化防止活動を支援するとともに、さまざまな普及啓発活動に取り組んでいます。

古井 秀樹さん(香川県C)

(センター職員、うちエコ診断士)



今年度からセンターの担当として従事。センターのシニアマネージャーとして各事業について企画立案し実施しています。今年、うちエコ診断士資格試験に合格し、センターの窓口で省エネ相談にも応じています。

赤井 藤子さん(岡山県C)

(推進員)



便利なくらしの背後にはCO₂、資源枯渇など大きな問題があることを知り、一人一人が知識を得て活動することが大切だと考えています。地域でもゴミの学習やエコツアーなど実施。「かんきょうひろば」の講師として小学校などへ出前授業をしています。

李 賢映さん(愛媛県C)

(推進員、うちエコ診断士)



愛媛大学にて講師を務めながら地球温暖化防止活動推進員、うちエコ診断士として精力的に活動されています。今後は、大学生向けの推進員制度を構築し、学生による出前授業などの地球温暖化防止活動を行っていく予定です。

篠原 道正さん(広島県C)

(推進員、広島市地球温暖化対策地域協議会代表、TEAM MATE ひろしま代表、うちエコ診断士)



広島市を中心に活動する地域協議会のリーダー。ひろしま温暖化ドクター事業(環境家計簿)、省エネ診断事業、啓発イベント、エコ川柳事業、ecoチャリワーク、環境学習支援事業、情報発信事業など幅広く活動しています。

曾我 古世さん(高知県C)

(推進員)



高知県内の推進員で構成される任意団体「高知県地球温暖化防止活動推進員の会」会長を務め、推進員としてのグループ活動を率先して推進しています。センター事業、推進員活動を進めるにあたって高知県には必要不可欠な推進員さんです。

曾我 邦雄さん(山口県C)

(推進員、地球温暖化防止コミュニケーション、環境カウンセラー、3R推進マスター、こどもエコクラブ応援団、環境まなび研究所)



曾我さんの講座の特徴は、手品やクイズ、音楽、ビンゴゲームなど、遊びを取り入れた参加型。講座で使う道具も自作し、趣向を凝らして飽きさせない、ユニークな教室を開き、そのために自らも労を惜しまず楽しみながら活動されています。

今西 良一さん(福岡県C)

(推進員)



宗像市葉山地区で、健康づくりと省エネの両面からまちづくりに取り組む団体、「葉山ヘルスケア・省エネ共和国」の大統領を務めています。福岡県のエコファミリー事業を長年継続され、この活動を市内外に拡大しようと講演活動を展開しています。

大垣 光治さん(徳島県C)

(推進員、環境アドバイザー)



小学生等を対象とした環境教育に熱心に取り組んでいます。体験しながら楽しく学習できる講義であり、特に、風力発電や太陽光発電の仕組みについての創意工夫を凝らした、わかりやすいエコ実験やお話は、子ども達に大人気です。

斎藤 定子さん(佐賀県C)

(推進員、消費生活相談員)



地域で3Rや地球温暖化防止の啓発活動を意欲的に実施されている団体の主力メンバーです。イベント等では家庭の省エネの相談窓口活動を行っています。啓発成果アンケート調査活動やCOOL CHOICE賛同者募集に大きく貢献しています。

4 地域の担い手たち

中本 宏さん(長崎県C)

(推進員、長崎エコ新喜劇脚本担当、うちエコ診断士)



温暖化の状況と自分たちができる事を分かりやすく市民に伝えるため「長崎エコ新喜劇」の脚本を制作。推進員を巻き込み、寸劇パフォーマンスを行っています。監督、小道具等、役割分担を決め、工夫を凝らした活動を継続的にしています。

鈴木 睦代さん(宮崎県C)

(推進員)



宮崎県日向市の推進員として、100万人のキャンドルナイトの企画や啓発、地域の仲間と共に考案したオリジナル新聞バッグの講習等幅広く活動されています。大人がまずできるエコの取組みをしようと意欲的に活躍されています。

原田 幸二さん(長崎市C)

(センター職員、サステナプラザながさき(長崎市地球温暖化防止活動推進センター)センター長)



サステナプラザながさきは、環境活動拠点として多くの市民が気軽に集い、利用できる「エコ・コミュニケーションの場」となっています。そんなセンターにふさわしい、明るくて親しみやすいセンター長です！

野口 治将さん(鹿児島県C)

(推進員、始良市重富校区コミュニティ協議会 会長)



推進員として活動されている野口さんは、始良市重富校区コミュニティ協議会会長としても活動されています。温暖化への取組みとして、家庭ごみのリサイクルや家庭からのCO₂排出量削減に取り組み、各家庭からのCO₂排出量調査などを行っています。

紫藤 夫妻(熊本県C)

(推進員、うちエコ診断士)



「グリーン(ゴーヤ)カーテン推進協議会」を設立し、種から育てたゴーヤの苗を無料で提供することや、育て方の指導をしています。熊本地震仮設住宅でも設置し、癒しと涼しさを提供しました。

大城 加代子さん(沖縄県C)

(推進員)



推進員として、これまでにうちエコ診断や家庭の簡易省エネ診断等をはじめとする沖縄県センターの各種事業にて、優しい語り口調を活かして積極的に活動をしています。沖縄県センターにとって欠くことのできない推進員の一人です。

前本 昭雄さん(熊本市C)

(推進員、うちエコ診断士)



うちエコ診断士でもあり、省エネ・節電・節水のエキスパートとして市内外で活動しています。出前講座の講師として自らの体験や実験による例を示し、関西弁で楽しく解りやすいお話しには定評があります。

温泉女子“とうの”さん(大分県C)

(センター職員)

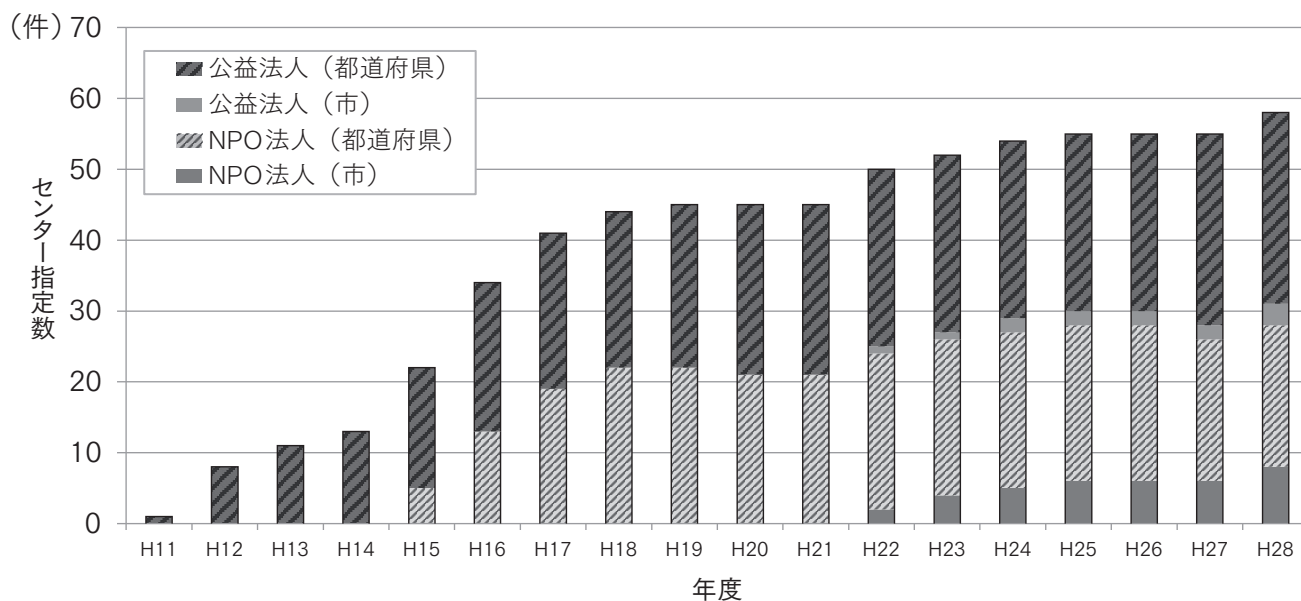


センター指定を受けて8年目、発足当時からセンター運営に関わり、これまでの事業の変遷に対応し、地域の方から頼られる存在です。子育てをしながら、これからも地域の方とともに仲良く密接に温暖化対策を進めていきます。

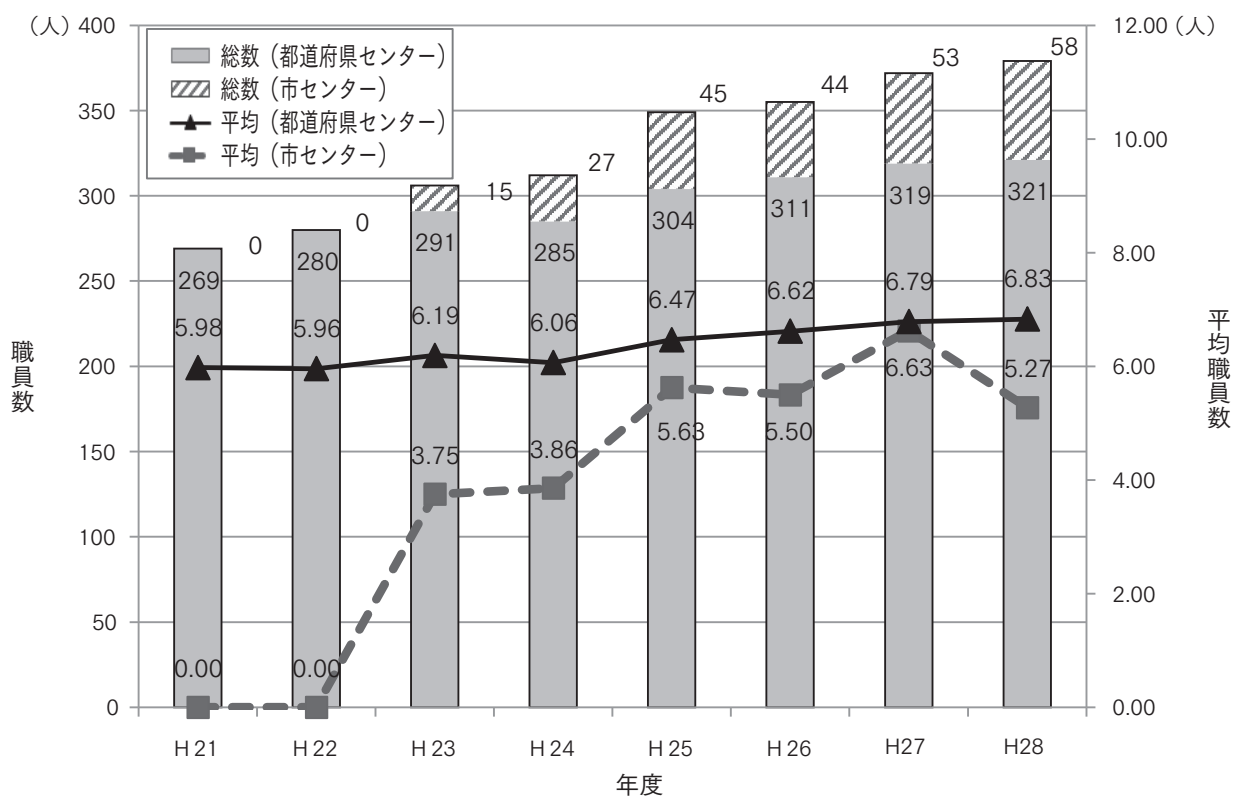
5 地域センター情報

(1)地域センター指定数及び従事者数の推移

①都道府県センター・市センター指定数の推移



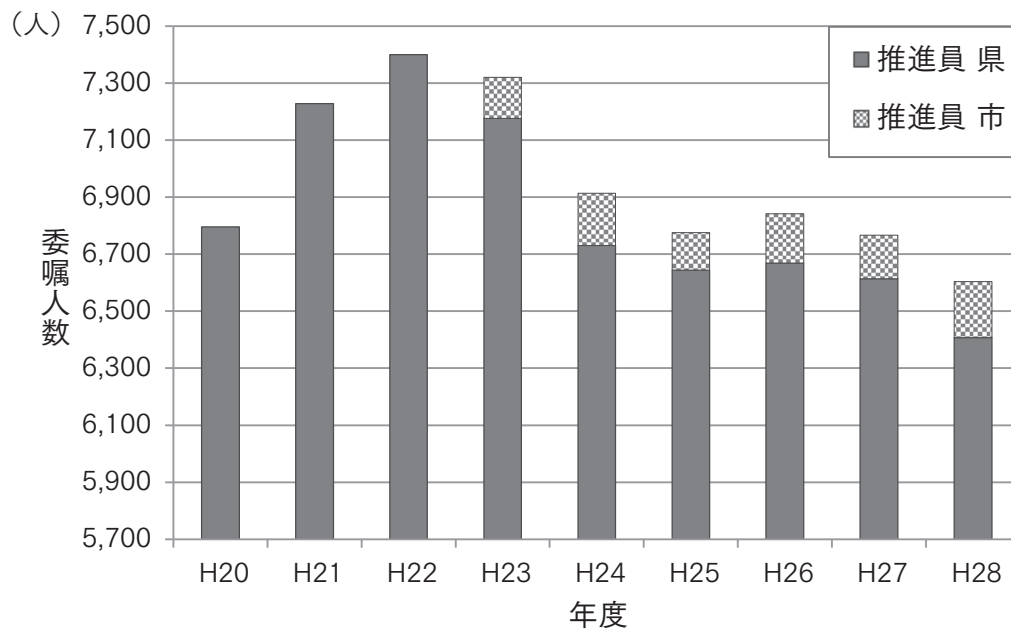
②地域センター従事者数の推移



5 地域センター情報

(2)地球温暖化防止活動推進員委嘱人数の推移

推進員委嘱人数の推移



		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
委嘱人数	県	6,796	7,228	7,400	7,176	6,731	6,644	6,669	6,614	6,407
	市	0	0	0	144	183	132	173	152	197
合 計		6,796	7,228	7,400	7,320	6,914	6,776	6,842	6,766	6,604

(3)地域センターが関係する地球温暖化対策地域協議会

	地域協議会数	地域センターが関係する地域協議会
北海道・東北	67	23
関東	93	27
中部	62	7
近畿	73	9
中国・四国	72	36
九州・沖縄	53	8
計	420	110

column

！ 地球温暖化対策地域協議会とは

地域協議会は、地球温暖化対策の推進を図るために、地方公共団体、地域センター、推進員、事業者、住民など、さまざまな地域主体が一体となって、家庭からの温室効果ガスの排出の抑制について協議するための組織です。地域協議会では、住民の取組みを推進するため必要な支援策の検討、一般家庭、商店街等における温室効果ガスの削減効果のある機器等の普及に関することなど、地域密着型の対策を講じることで、温室効果ガスの削減を図ることを目的としています。

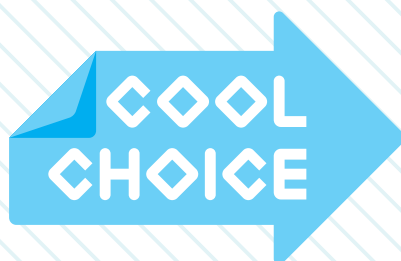


▲地域協議会の様子（熊本県センター）

5 地域センター情報

(4)地域センター 所在地一覧

センター	指定団体名	郵便番号	所在地	電話番号
北海道	公益財団法人北海道環境財団	060-0004	北海道札幌市中央区北 4 条西 4-1 伊藤・加藤ビル 4F	011-218-7811
青森県	特定非営利活動法人青森県環境パートナーシップセンター	030-0801	青森県青森市新町 1-13-7 和田ビル 3 階	017-721-2480
青森市	特定非営利活動法人青森県環境パートナーシップセンター	030-0801	青森県青森市新町 1-13-7 和田ビル 3 階	017-721-2480
岩手県	認定特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて	020-0045	岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 アイーナ 5F	019-681-1904
宮城県	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	981-0933	宮城県仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F	022-301-9145
秋田県	特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム	010-1403	秋田県秋田市上北手荒巻字堺切 24-2 遊学舎内	018-839-8309
秋田市	一般社団法人あきた地球環境会議	010-0001	秋田県秋田市中通 6-1-65 PP ビルディング 4F	018-874-8548
山形県	特定非営利活動法人環境ネットやまがた	990-2421	山形県山形市上桜田 3-2-37	023-679-3340
福島県	特定非営利活動法人超学際的研究機構	960-8043	福島県福島市中町 8-2 福島県自治会館 7 階	024-525-8892
茨城県	一般社団法人茨城県環境管理協会	310-0836	茨城県水戸市元吉田町 1736-20	029-248-7431
栃木県	一般財団法人栃木県環境技術協会	329-1198	栃木県宇都宮市下岡本町 2145-13	028-673-9101
群馬県	特定非営利活動法人地球温暖化防止ぐんま県民会議	371-0016	群馬県前橋市城東町 2-3-8	027-237-1103
埼玉県	認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉	330-0074	埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎 3 階	048-749-1217
熊谷市	特定非営利活動法人熊谷の環境を考える連絡協議会	360-0114	埼玉県熊谷市江南中央 1-1	048-536-0557
川口市	認定特定非営利活動法人川口市民環境会議	332-0001	埼玉県川口市朝日 4-21-33 朝日環境センター・リサイクルプラザ 4 階	048-222-9050
千葉県	一般財団法人千葉県環境財団	260-0024	千葉県千葉市中央区中央港 1-11-1	043-246-2180
東京都	公益財団法人東京都環境公社	163-0810	東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 10 階	03-5990-5061
八王子市	特定非営利活動法人環境活動センター八王子	192-0906	東京都八王子市北野町 596-3 あったかホール 2 階	042-656-3103
神奈川県	特定非営利活動法人かながわアジェンダ推進センター	221-0835	神奈川県横浜市中区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター 9F	045-321-7453
川崎市	認定特定非営利活動法人アクト川崎	213-0001	神奈川県川崎市高津区溝口 1-4-1 ノクティ 2 11F 高津市民館内	044-813-1313
新潟県	公益財団法人新潟県環境保全事業団	950-2144	新潟県新潟市西区曾和 1182	025-264-2144
山梨県	公益財団法人キープ協会	407-0301	山梨県北杜市高根町清里 3545	0551-48-8011
静岡県	特定非営利活動法人アースライフネットワーク	420-0851	静岡県静岡市葵区黒金町 12-5 丸伸ビル 2 階	054-271-8806
浜松市	特定非営利活動法人静岡県新エネルギー推進機構	432-8068	静岡県浜松市西区大平台 3-21-18	053-485-2021
富山県	公益財団法人とやま環境財団	930-0096	富山県富山市舟橋北町 4-9 富山県森林水産会館 2 階	076-431-4607
石川県	公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議	920-8203	石川県金沢市鞍月 2-1 いしかわエコハウス内	076-266-0881
福井県	特定非営利活動法人エコプランふくい	910-0004	福井県福井市宝永 4 丁目 13-4	0776-30-0092
長野県	一般社団法人長野県環境保全協会	380-0835	長野県長野市新田町 1513-2 (82 プラザ長野)	026-237-6625
長野市	一般社団法人長野県環境保全協会	380-0835	長野県長野市新田町 1513-2 (82 プラザ長野)	026-237-6681
岐阜県	一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター	500-8148	岐阜県岐阜市曙町 4-6	058-247-3105
愛知県	一般社団法人環境創造研究センター	461-0005	愛知県名古屋市中区東桜 2-4-1 第 3 コジマビル 4 階	052-934-7295
三重県	一般財団法人三重県環境保全事業団	510-0304	三重県津市河芸町上野 3258 番地 (一般財団法人 三重県環境保全事業団)	059-245-7517
滋賀県	公益財団法人淡海環境保全財団	525-0066	滋賀県草津市矢橋町字帰帆 2108	077-569-5301
大津市	特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム	520-0047	滋賀県大津市浜大津四丁目 1 番 1 号 明日都浜大津 4 階	077-526-7545
京都府	特定非営利活動法人京都地球温暖化防止府民会議	604-8417	京都府京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3	075-803-1128
大阪府	一般財団法人大阪府みどり公社	541-0054	大阪府大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 5 階	06-6266-1271
兵庫県	公益財団法人ひょうご環境創造協会	654-0037	兵庫県神戸市須磨区行平町 3-1-18	078-735-2738
奈良県	特定非営利活動法人奈良ストップ温暖化の会	631-0032	奈良県奈良市あやめ池北 3 丁目 12-27	0742-49-6730
和歌山県	特定非営利活動法人わかやま環境ネットワーク	641-0014	和歌山県和歌山市毛見 996-2	073-499-4734
鳥取県	特定非営利活動法人 ECO フェチャーとっとり	689-1111	鳥取県鳥取市若葉台北 1-1-1 公立鳥取環境大学内	0857-52-2700
島根県	公益財団法人しまね自然と環境財団	690-0887	島根県松江市殿町 8-3 島根県市町村振興センター 2F	0852-67-3262
岡山県	公益財団法人岡山県環境保全事業団	700-0907	岡山県岡山市北区下石井 2-2-10	086-224-7272
広島県	一般財団法人広島県環境保健協会	730-8631	広島県広島市中区広瀬北町 9-1	082-293-1512
山口県	公益財団法人山口県予防保健協会	753-0814	山口県山口市吉敷下東 1-5-1	083-933-0018
徳島県	特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センター	770-0873	徳島県徳島市東沖洲 1-23 エコみらいとくしま内	088-678-6091
香川県	公益財団法人香川県環境保全公社	760-0050	香川県高松市亀井町 9 番地 10 香川県信用組合ビル 5 階	087-831-7773
愛媛県	公益社団法人愛媛県浄化槽協会	790-0063	愛媛県松山市辻町 2-31	089-925-2661
高知県	認定特定非営利活動法人環境の杜こうち	780-0935	高知県高知市旭町 3-115 こうち男女共同参画センター 3F	088-822-5554
福岡県	一般財団法人九州環境管理協会	813-0004	福岡県福岡市東区松香台 1-10-1	092-674-2360
佐賀県	特定非営利活動法人温暖化防止ネット	849-0932	佐賀県佐賀市鍋島町大字八戸溝 1307 番地 10	0952-37-9192
長崎県	公益財団法人ながさき地域政策研究所	850-0035	長崎県長崎市元船町 17-1 公益財団法人 ながさき地域政策研究所内 (シンクながさき)	095-820-4868
長崎市	公益財団法人ながさき地域政策研究所	850-0033	長崎県長崎市万才町 10-16 パーキングビル川上 2F	095-895-5541
熊本県	特定非営利活動法人くまもと温暖化対策センター	860-0031	熊本県熊本市中央区魚屋町 2-5 サンコミビル 3F	096-356-4840
熊本市	特定非営利活動法人くまもと温暖化対策センター	860-0031	熊本県熊本市中央区魚屋町 2-5 サンコミビル 3F	096-374-6655
大分県	特定非営利活動法人大分県地球温暖化対策協会	870-0003	大分県大分市生石 4-1-20 大鯪ビル 2F	097-574-6139
宮崎県	特定非営利活動法人宮崎文化本舗	880-0014	宮崎県宮崎市鶴島 2-9-6 みやざき NPO ハウス 101 号	0985-60-3911
鹿児島県	一般財団法人鹿児島県環境技術協会	891-0132	鹿児島県鹿児島市七ツ島 1-1-10	099-284-6013
沖縄県	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会	901-1202	沖縄県南城市大里字大里 2013	098-945-2686



未来のために、いま選ぼう。

発行: 平成 28 年 11 月

問い合わせ先: 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット (全国地球温暖化防止活動推進センター)
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-12-3 第一アマイビル 4F
TEL 03-6273-7785 / FAX 03-5280-8100
<http://www.jccca.org/>



この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。